

歩道橋の階段下バス停のある街

今年はまた異様な暑さですね、加えてゲリラ豪雨も。異常気象は当分続くとみる専門家があります。するとバス停に待っている人たちのことが気になりました。炎天下で、また土砂降りの雨の中でどうしているのでしょうか。福岡をはじめ九州各県の県庁所在地ならひと頃盛んに作られた歩道橋が幾つもあるはずです。

そこで歩道橋の階段下をバス停にするのです。暑さや雨を凌げます。またそのための上屋を作る必要がなく経費削減につながります。道路横断者に便利なことはいうまでもありません。

バス停が現在地より近ければ移せばよいし、全体を見直すという手もあります。行政と町内会との協議により可能と考えられます。